

# 避難所生活のQOLの向上

宮城県仙台第三高等学校 38班

## 1. 背景と目的

避難所のQOL低下の原因

↓

運営側の問題？

↓

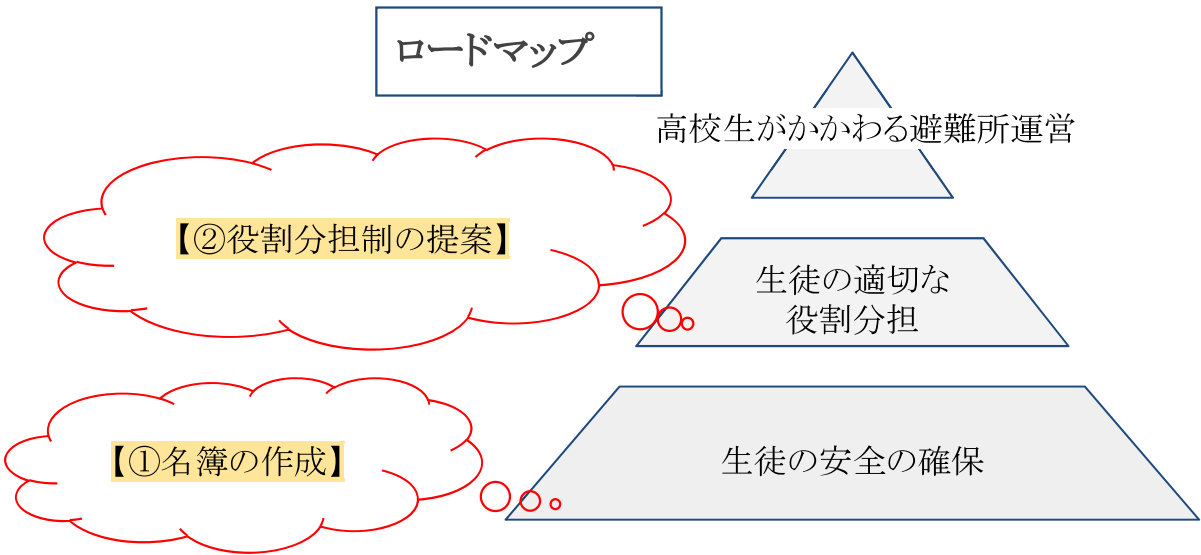
高校生の積極的な関わり

↓

運営のスムーズ化

↓

結果、避難所のQOL向上！？



## 2. 先行研究・調査

### 当時を知る方へインタビュー

山田葉子さん

東日本大震災当時、渡波小学校の本部で活躍

### 【高校生にできること】

#### ①来客などの安否・安全確認

・(前提として生徒が学校にいるとき)

緊急時に生徒の現状の詳細を把握する

・その情報を一覧でわかるように表にまとめる

↓

あらかじめチェック項目の名簿を作っておけば、**高校生もこの役割を担う**ことができる

#### ②生徒情報センター

教師は仕事が多く手を煩わせてしまう

↓

生徒の代表者である生徒会が**生徒の情報窓口**としてワンクッション

↓

生徒や避難者の要望を取捨選択しまとめて教師に伝達

・生徒間の面識有→**本音**を集めやすい

・既に命令形等が明確→円滑な準備・開始が可能

### 【②の構想図】



## 3. 結果

### 【①名簿の作成】

☆[安全確認](#)と[安否確認](#)

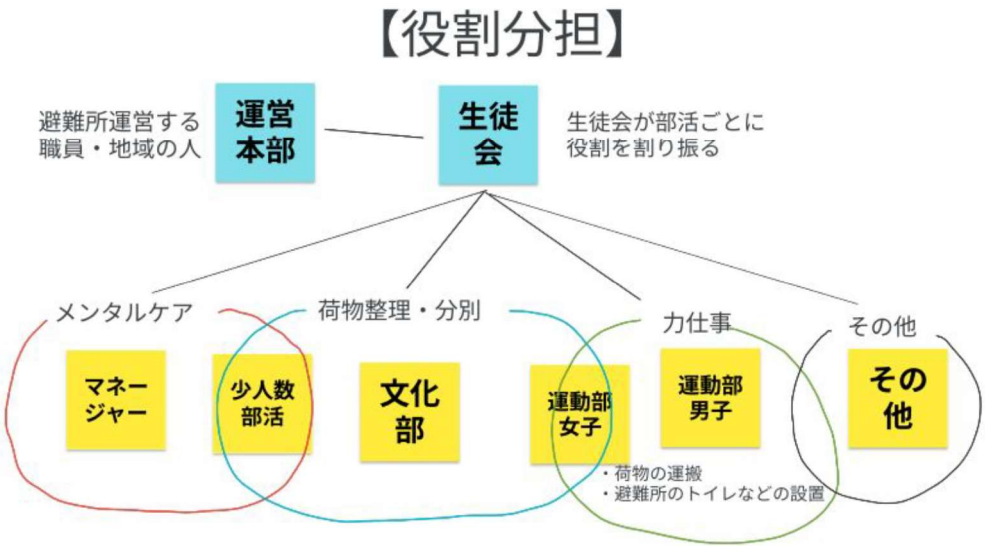
(運営の手伝いができるかどうか)

スプレッドシートで作成⇒印刷

### 【②生徒の役割分担】

☆[適材適所！](#) → それぞれの得意・不得意を活かす  
ex) 部活ごと

各学校に対応できるように割振を一般化



## 4. 展望

発表の場などを通じて、この①・②について広めて、多くの人に高校生が関わる避難所運営を知ってもらえるようにする

## 参考文献

[未来の防災に活かす自治体の取り組み！東日本大震災が教えてくれること。](#) [石巻市地域防災計画](#)

[災害避難時における要援護者支援マニュアル](#) [緊急時の対応マニュアル](#) [資料4 大規模災害時の学校における避難所運営の協力に関する留意事項（案）](#)